

【 取 扱 説 明 書 】

# ガウカット

地 震 感 知 器

MODEL : GC5000

【 第2版 2016. 4. 13 】  
@GC5000(2)

## ご使用に際しての注意事項とお願い

---

製品を安全にご使用いただくため、下記の注意事項と本書をご一読されますよう、  
お願い申し上げます。

- ⚠ <注意> 本器は地震を感知してリレー出力し、2次災害を低減することを目的とした装置です。本器をを設置した各種設備の故障や破損などの異常を防止する装置ではありません。
- ⚠ <注意> 製品仕様以外では使用しないでください。
- ⚠ <注意> お客様による製品の改造や変更は、本来の性能を発揮できないばかりか、不適合や事故の原因となります。改造や変更は、おこなわないでください。
- ⚠ <注意> 直射日光はさけ、定格をこえる温湿度の場所や結露の起きやすい場所では使用しないでください。
- ⚠ <注意> 可燃性ガスや発火物のある場所では使用しないでください。
- ⚠ <注意> 本体に金属粉・ほこり・水などが入らないようにしてください。
- ⚠ <注意> 配線時は、必ず電源を切って作業してください。
- ⚠ <注意> 本機に供給する電源は、仕様にあった定格のものを使用してください。
- ⚠ <注意> 本機には電源スイッチがありませんので、電源印加後、ただちに動作状態となります。
- ⚠ <注意> 通電中は、端子部に触れないでください。感電の恐れがあります。

## 目次

---

1. 付属品の確認と保証期間について	1
2. 製品概要と仕様	2
3. 取り付け方法	3
4. 端子台の接続方法	4
5. 各名称とその機能	5
6. 外形寸法図	6

# 1. 付属品の確認と保証期間について

---

## 付属品の確認について

本機が届きましたら、下記のもの揃っているか確認してください。

- (1) GC5000本体 . . . . . 1
- (2) GC5000取扱説明書（本書） . . . . . 1
- (3) GC5000取付用ネジ（M4×15 P=2 ナベ） . . . . . 2

上記で誤ったもの、または欠けているものがありましたら取扱店または弊社までご連絡ください。（お客様のご都合により、付属されていない場合もございます。）

## 保証期間と保証範囲について

### 1. 保証期間

納入品の保証期間は引渡し日より、4年間とさせていただきます。

### 2. 保証範囲

上記保証期間中に弊社の責による故障が生じた場合は、当社工場で無償修理させていただきます。但し、下記にあげます事項に該当する場合は、この保証対象範囲から除外させていただきますのでご了承ください。

- ① 取扱説明書、または仕様書等による契約以外の使用による故障
- ② 弊社の了解なしにお客様による改造、または修理による故障
- ③ 故障の原因が弊社責以外の事由による故障
- ④ 製品仕様条件をこえた保管・移送、または使用による故障
- ⑤ 火災・水害・地震・落雷・その他、天災地変による故障

## 2. 製品概要と仕様

### < 製品概要 >

本器は地震を感知し2次災害の被害を低減することを目的とする装置です。

電源はAC85～264Vで動作します。

電源ON後、動作切換スイッチを作動側にすると、スタンバイランプが点灯し作動状態になります。90～170ガル以上を感知すると、スタンバイランプが消灯し、リレー出力がONになります。動作切換スイッチを解除側にするとリレー出力がOFFになります。

	状 態	動 作 条 件			動 作 状 態		
		電源	動作切換	地震検知	スタンバイランプ	リレー(a接)	リレー(b接)
①	電源OFF	OFF	—	—	消灯	オープン	ショート
②	解除状態	ON	解除 *1	—	消灯	オープン	ショート
③	スタンバイ状態	ON	作動 *2	無	点灯	オープン	ショート
④	感震状態 (リレーON)	ON	作動 *2	有	消灯	ショート	オープン

\*1 動作切換スイッチが解除側あるいは強制解除入力ショート中のとき。

\*2 動作切換スイッチが作動側かつ強制解除入力オープン中のとき。

### < 仕 様 >

	項 目	仕 様
1	電 源	AC85V～264V 50/60Hz 4VA以下
2	動 作 特 性	90～170ガル (震度5弱相当以上) ※周期0.3s、0.5s、0.7s 水平連続加振法による。
3	リレー出力	1C接点 AC250V 1A・DC30V 1A (抵抗負荷)
4	強制リレー出力スイッチ (テスト用)	動作切換スイッチが作動側で、このスイッチを押すとリレー出力をON (テスト用)
5	強 制 解 除 入 力	動作切換スイッチが作動側のとき、この入力をショートすると強制的に解除状態となり、その後、ショートを解除するとスタンバイ状態となります。
6	取 り 付 け 角 度	鉛直方向より±5度以内
7	ス タ ン バ イ ラ ン プ	緑色LED
8	外 形 寸 法	W70×H90×D34 (突起部含まず)
9	質 量	約124g
10	使 用 温 湿 度	0～50℃, 25～80%RH (ただし、結露なきこと)

### 3. 取り付け方法

#### <設置場所について>

振動やうねりが発生する場所では本器が動作する場合があります。  
誤動作が起こらない場所を選定してください。  
地震をのぞき90～170ガル以上の振動が発生する場所には適しません。

誤動作の発生する可能性のある場所

- ・ドアの近く
- ・移動体上（コンベア、台車）
- ・揺れることを想定された建物・装置
- ・その他揺れの発生する場所

誤動作の発生する可能性のある振動源

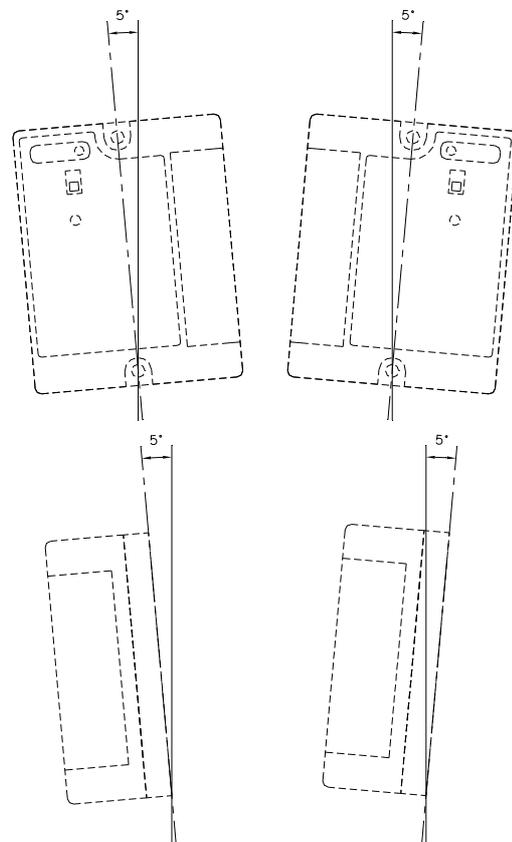
- ・ドアの開閉
- ・コンプレッサー等の大型回転機器
- ・大型機械の起動、稼働、停止など
- ・車両の発進、走行、停止など
- ・その他上記に類似するもの

#### <取り付けについて>

本器は鉛直方向より±5度以内の設置が可能ですが鉛直方向にちかくなるように取り付けることにより誤動作を低減することができます。

設置後、誤動作が発生する場合は取り付け方向を確認してください。

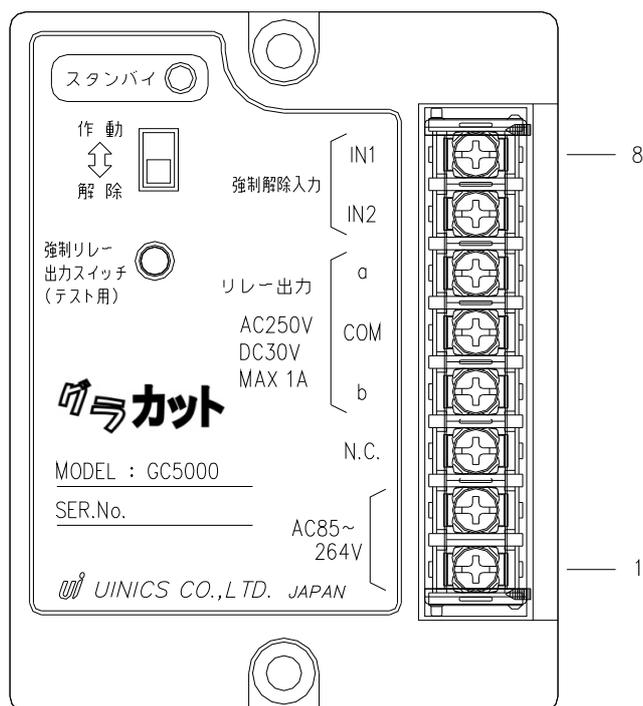
図3-1



## 4. 端子台の接続方法

<端子台図>

図4-1



端子台配列

8	強制解除入力 IN1 IN2とショート中は解除状態となります。その後、ショートを解除するとスタンバイ状態となります。
7	強制解除入力 IN2 IN1とショート中は解除状態となります。その後、ショートを解除するとスタンバイ状態となります。
6	リレー出力 a リレーON時、COMとショート
5	リレー出力 COM
4	リレー出力 b リレーOFF時、COMとショート
3	N. C. 接続しないでください。
2	AC電源
1	AC電源

端子台ピッチ：7.62mm (IDEC製：BP-101S-8)

- ⚠ <注意> 配線時は、必ず電源を切って作業してください。
- ⚠ <注意> 今一度、仕様範囲をご確認ください。

### 配線後の確認

配線終了後は、以下の手順でスタンバイランプが点灯することを確認してください。

- ①動作切り換えスイッチを解除側にする。
- ②本器の電源を入れる。
- ③動作切換スイッチを作動側にする。
- ④スタンバイランプが点灯します。
- ⑤GC5000を揺らす、あるいは強制リレー出力スイッチ(テスト用)を押す。
- ⑥スタンバイランプが消灯しリレーONになることを確認してください。
- ⑦動作切換スイッチを解除側に切り換える。
- ⑧GC5000に電源を入れる。
- ⑨動作切り換えスイッチを作動側に切り換える。
- ⑩スタンバイランプが点灯することを確認する。

以上の確認は配線後に必ずおこなってください。

また、④～⑩の項目は定期的に確認する様にしてください。

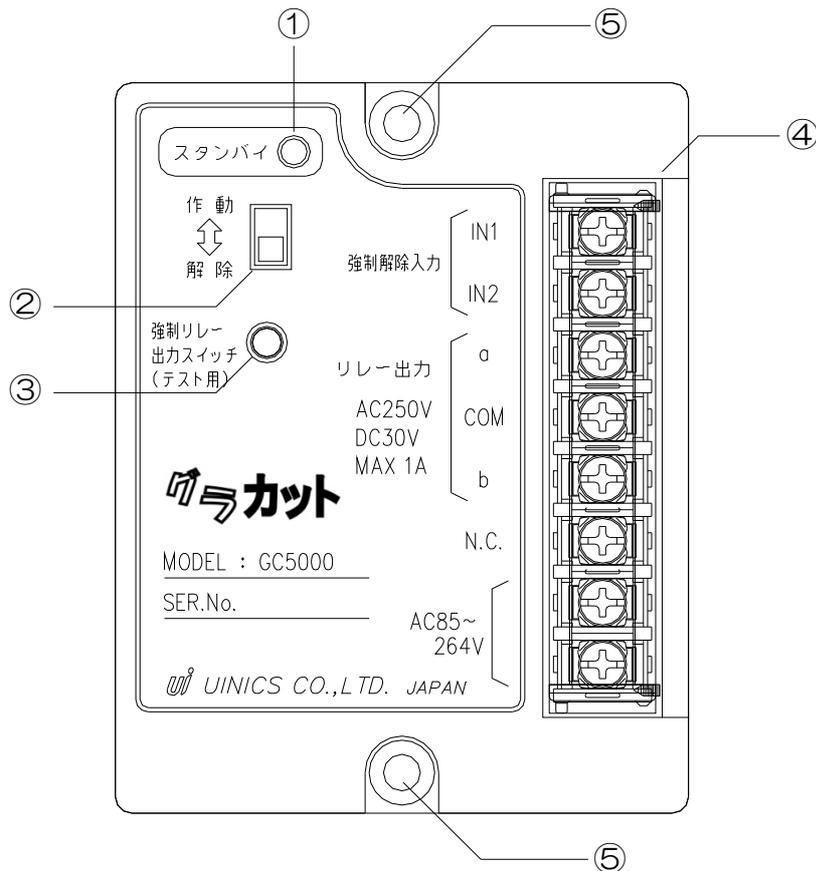
(1年に1回以上の確認をおこなってください)

### 注意

配線終了後、正しく配線したにもかかわらず弱い振動でも作動、または作動しない場合は、GC5000本体が鉛直方向より5度以上(全方向に対して)傾いていることが考えられますので鉛直になるように取り付けてください。

## 5. 各名称とその機能

図5-1

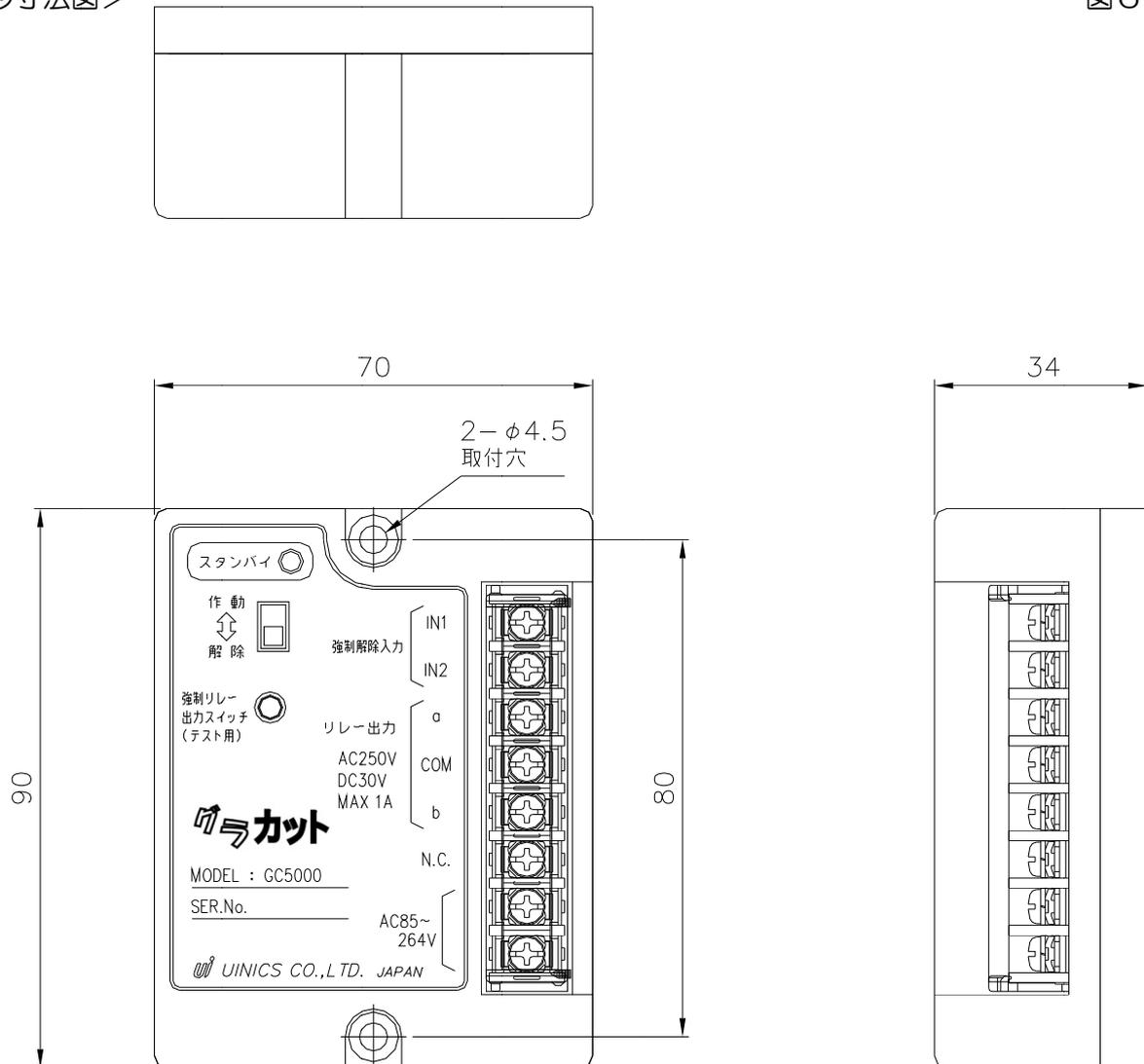


No.	名 称	機 能
①	スタンバイランプ	GC5000が作動中に点灯します。 通常は点灯した状態で使用します。 (地震を感知すると消灯します。)
②	動作切換スイッチ	解除側は地震検知を停止し、リレー出力を解除します。 通常は作動側で使用します。
③	強制リレー出力スイッチ (テスト用)	動作切換スイッチが作動側時、このスイッチを押すと リレー出力がONになります。(テスト用)
④	端 子 台	電源入力、強制解除入力、リレー出力用端子
⑤	取 り 付 け 穴	GC5000本体を取り付ける穴です。 M4のネジをご使用ください。

## 6. 外形寸法図

<外形寸法図>

図6-1



端子ネジ：M3  
端子幅：7.62mm  
端子台カバー付き

(単位：mm)

# UINICS ユーアイニクス株式会社

本 社 〒593-8311 大阪府堺市西区上123-1  
TEL.072-274-6001 FAX.072-274-6005  
東京営業所 TEL.03-5256-8311 FAX.03-5256-8312

U R L <http://www.uinics.co.jp>

携帯電話、スマートフォン等  
からのアクセスはこちら



通信料はお客様ご負担となりますので予めご了承ください

※改良のため、仕様等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。